

Cマーク表示金物の耐力性能一覧表

1. Cマーク表示金物

1. 1 接合金物（接合具：六角ボルト、太めくぎ又はラグスクリュー）

表 1-1 短期許容耐力表 (kN)

名称	記号	短期許容耐力			接合具
		D. Fir-L ベイマツ類*1	Hem-Fir ヒノキ類*2	S. P. F スギ類*3	
柱脚金物	PB-33	11.3	10.4	10.0	六角ボルト M12(1本)
	PB-42	22.7	20.8	20.0	六角ボルト M12(2本)
柱頭金物	PC	10.3	9.3	8.1	太めくぎ ZN65(24本)
帯金物	S-45	2.5	2.3	2.0	太めくぎ ZN40(6本)
	S-50	5.1	4.6	4.0	太めくぎ ZN65(12本)
	S-65	5.1	4.6	4.0	太めくぎ ZN65(15本)
	S-90	5.1	4.6	4.0	太めくぎ ZN40(12本)
	SW-67	10.3	9.3	8.1	太めくぎ ZN65(26本)
ストラップアンカー	SA-65	10.3	9.3	8.1	太めくぎ ZN65(12本) 六角ボルト M8(1本)
あおり止め 金物	TS	3.4	3.1	2.7	太めくぎ ZN40(8本)
	TW-23	4.3	3.8	3.3	太めくぎ ZN40(10本)
	TW-30				
かど金物	CP・L	4.3	3.8	3.4	太めくぎ ZN65(10本)
	CP・T				
引き寄せ金物	HD-B10	11.3	10.4	10.0	六角ボルト M12(2本) 又は ラグスクリュー LS12(2本)
	S-HD10				
	HD-B15	17.0	15.6	15.0	六角ボルト M12(3本) 又は ラグスクリュー LS12(3本)
	S-HD15				
	HD-B20	22.7	20.8	20.0	六角ボルト M12(4本) 又は ラグスクリュー LS12(4本)
	S-HD20				
	HD-B25	28.4	26.0	25.0	六角ボルト M12(5本) 又は ラグスクリュー LS12(5本)
	S-HD25				
	HD-N5	7.5	6.8	5.8	太めくぎ ZN90(6本)
	HD-N10	12.6	11.4	9.8	太めくぎ ZN90(10本)
	HD-N15	20.1	18.2	15.6	太めくぎ ZN90(16本)
	HD-N20	22.6	20.5	17.6	太めくぎ ZN90(20本)
HD-N25	29.4	26.6	22.9	太めくぎ ZN90(26本)	

(注1) 耐力の算出方法は、一般社団法人日本建築学会発行 1988「木構造計算規準・同解説」による。

(注2) PCは、2枚組で使用する値である。SA-65に使用する座金は、平座金 W1.6×23 とする。

(注3) SA-65以外の接合金物に座金を使用する場合は、角座金 W4.5×40 以上とする。

(注4) 短期許容耐力は、枠組材と接合金物を直接接合した場合の耐力である。

(注5) *1 ベイマツ類：ベイマツ、クロマツ、アカマツ、カラマツ、ツガ、リュウキュウマツ

*2 ヒノキ類：ヒノキ、ベイツガ、ベイヒ、ヒバ、モミ、アスナロ

*3 スギ類：スギ、ベイスギ、トドマツ、エゾマツ、ベニマツ、スプルー

これらの樹種分類は、密度ベースで整理した一般社団法人日本建築学会基準の趣旨を援用して整理している。

表 1-2 長期許容耐力表 (kN)

名称	記号	長期許容耐力			接合具
		D. Fir-L ベイマツ類*1	Hem-Fir ヒノキ類*2	S. P. F スギ類*3	
根太受け金物	JH-S 204・206	3.4	3.1	2.7	端根太へ太めくぎ ZN40(8本) 根太へ太めくぎ ZN40(8本)
	JH 204・206	2.5	2.3	2.0	端根太へ太めくぎ ZN40(6本) 根太へ太めくぎ ZN40(4本)
	JH 2-204・2-206	2.5	2.3	2.0	端根太へ太めくぎ ZN65(6本) 根太へ太めくぎ ZN65(4本)
	JH 208・210	3.4	3.1	2.7	端根太へ太めくぎ ZN65(8本) 根太へ太めくぎ ZN40(6本)
	JH 212	4.3	3.8	3.3	端根太へ太めくぎ ZN65(10本) 根太へ太めくぎ ZN40(6本)
	JHS 208・210R				
JHS 208・210L					
梁受け金物	BH 2-208	4.3	3.8	3.3	端根太へ太めくぎ ZN65(10本) 根太へ太めくぎ ZN65 (6本)
	BH 2-210				
	BH 2-212	7.5	6.8	5.8	端根太へ太めくぎ ZN90(12本) 根太へ太めくぎ ZN65 (6本)
	BH 3-208	8.7	7.9	6.8	端根太へ太めくぎ ZN90(14本) 根太へ太めくぎ ZN90 (6本)
	BH 3-210				
	BH 3-212	10.0	9.1	7.8	端根太へ太めくぎ ZN90(16本) 根太へ太めくぎ ZN90 (6本)
	BH 4-208	8.7	7.9	6.8	端根太へ太めくぎ ZN90(14本) 根太へ太めくぎ ZN90 (6本)
	BH 4-210				
	BH 4-212	10.0	9.1	7.8	端根太へ太めくぎ ZN90(16本) 根太へ太めくぎ ZN90 (6本)
	BHS 2-210R	5.1	4.6	4.0	端根太へ太めくぎ ZN65(12本) 根太へ太めくぎ ZN65 (4本)
BHS 2-210L					
ヘビータイプ 梁受け金物	BHH 2-210	9.8	8.8	7.7	端根太へ太めくぎ ZN80(10本) 根太へ太めくぎ ZN65 (6本)
	BHH 3-210	13.7	12.3	10.7	端根太へ太めくぎ ZN80(14本) 根太へ太めくぎ ZN90 (6本)
まぐさ受け 金物	LH 204	2.5	2.3	2.0	縦枠へ太めくぎ ZN65(6本) まぐさへ太めくぎ ZN65(2本)
	LH 206	4.3	3.8	3.3	縦枠へ太めくぎ ZN65(10本) まぐさへ太めくぎ ZN65(2本)

(注1) 耐力の算出方法は、一般社団法人日本建築学会発行 1988「木構造計算規準・同解説」による。

(注2) JH-S 204・206 は、2枚組で使用する値である。

(注3) 長期許容耐力は、枠組材と接合金物を直接接合した場合の耐力である。

1. 2 接合金物（接合具：四角穴付きタッピンねじ）

表 1-3 短期許容耐力表 (kN)

名称	記号	短期許容耐力			接合具
		D. Fir-L ベイマツ類*1	Hem-Fir ヒノキ類*2	S. P. F スギ類*3	
帯金物	S-30S	2.4			タッピンねじ STS・C45 (4本)
	S-60S	5.6			タッピンねじ STS・C45 (8本)
	S-85S	8.8			タッピンねじ STS・C65 (16本)
	SW-26S	8.7			タッピンねじ STS・C65 (11本)
コーナー金物	CP・CS	9.1			縦枠へタッピンねじ STS・C65 (6本) 下枠へタッピンねじ STS・C135 (5本)

(注1) 耐力の算出方法は、公益財団法人日本住宅・木材技術センター接合金物試験法規格及び公益財団法人日本住宅・木材技術センター発行「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」による。

(注2) 短期許容耐力は、枠組材に構造用合板 12mm を介して接合した接合金物の耐力である。

2. アンカーボルト

表 2-1 アンカーボルトのコンクリートの短期付着耐力表 (kN)

記号	円周の長さ	定着長さ	短期付着応力度	短期付着耐力
M12	10.7 mm×3.14	250 mm	1.4 N/mm ²	11.7
M16	16 mm×3.14	360 mm		25.3

(注) 短期付着応力度は、建築基準法施行令第91条の規定による。定着長さには、フックは含んでいない。

3. 接合具

表 3-1 接合具の短期許容耐力表 (kN)

名称	記号	短期許容耐力			主な用途等
		D. Fir-L ベイマツ類*1	Hem-Fir ヒノキ類*2	S. P. F スギ類*3	
太めくぎ	ZN 40	0.86	0.77	0.68	長期許容せん断耐力の値は、表値の1/2とする。鋼板添え板のため、25%増しによる数値とする。
	ZN 65	0.86	0.77	0.68	
	ZN 90	1.26	1.14	0.98	
	ZN 80	1.96	1.77	1.54	
スクリークぎ	ZS 50	1.48	1.34	1.17	
角座金	W4.5×40×φ14	9.60	8.32	6.40	めり込み耐力以下の引張りを受けるボルト M12 用の座金
	W6.0×60×φ14	21.60	18.72	14.40	めり込み耐力以下の引張りを受けるボルト M16 用の座金
	W9.0×80×φ18	38.40	33.28	25.60	
丸座金	RW6.0×68×φ14	21.77	18.87	14.51	めり込み耐力以下の引張りを受けるボルト M12 用の座金
	RW9.0×90×φ18	38.14	33.06	25.43	めり込み耐力以下の引張りを受けるボルト M16 用の座金
座金付きボルト	M16W	38.40	33.28	25.60	ホールダウン金物用の接合具
角座金	W6.0×54×φ18	—	—	—	ホールダウン金物用の座金
平座金	W1.6×23×φ9	—	—	—	ストラップアンカー用の座金

(注1) 座金のめり込み耐力の算出方法は、国土交通省告示第1024号第1の1の規定によるとともに、座面積の算出方法は、公益財団法人日本住宅・木材技術センター発行「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」による。

(注2) 太めくぎ及びスクリークぎの耐力は、枠組材と接合具を直接接合した場合の耐力である。